

## 東日本大震災で発生した災害廃棄物の受け入れについて

### 1 災害廃棄物の受入日数と受入量について

盛岡市クリーンセンターでは、平成 23 年度から平成 25 年度までの間、平成 23 年 8 月策定の「岩手県災害廃棄物処理詳細計画」に基づき、災害廃棄物の焼却処理を行ってきました。平成 23 年 11 月 25 日から試験的に受け入れを開始し、平成 24 年 2 月 13 日からは、二次仮置場の破砕分別施設が稼働したことにより、宮古市などの災害廃棄物の本格受け入れを開始し、平成 25 年度末までに可燃物 7,879.17 トン及び不燃物 3,984.37 トンの受入処理を行いました。

単位：トン

受入年度	受入日数	岩泉町小本	宮古地区	山田地区	受入量合計
平成 23 年度	43 日	14.48	297.94	464.74	777.16
平成 24 年度	271 日	-	2,648.61	3,053.38	5,701.99
平成 25 年度	103 日	-	585.26	814.76	1,400.02
合計	417 日	14.48	3,531.81	4,332.88	7,879.17

### 2 受入前後の放射線量及び放射線濃度の測定結果について

#### (1) 放射線量

##### ア 災害廃棄物受入前のクリーンセンターにおける放射線量

単位： $\mu$ Sv/時

測定年月日	測定場所	周辺の空間放射線量 (地上高 1 m)	廃棄物の放射線量 (距離 5 cm)
平成 23 年 11 月 24 日	クリーンセンター	0.04	0.04

##### イ 岩泉町小本からの受け入れに係る放射線量

単位： $\mu$ Sv/時

測定年度	測定場所	周辺の空間放射線量 (地上高 1 m)	廃棄物の放射線量 (距離 5 cm)
平成 23 年度	クリーンセンター	0.03 ~ 0.05	0.03

ウ 宮古地区の破碎・選別施設からの受け入れに係る放射線量

単位：μSv/時

測定年度	測定場所	周辺の空間放射線量 (地上高 1 m)	廃棄物の放射線量 (距離 5 cm)
平成 23 年度	クリーンセンター	0.04	0.03
平成 24 年度	クリーンセンター	0.03 ~ 0.04	0.02 ~ 0.03
平成 25 年度	クリーンセンター	0.03	0.02 ~ 0.03

エ 山田地区の破碎・選別施設からの受け入れに係る放射線量

単位：μSv/時

測定年度	測定場所	周辺の空間放射線量 (地上高 1 m)	廃棄物の放射線量 (距離 5 cm)
平成 23 年度	クリーンセンター	0.04	0.03
平成 24 年度	クリーンセンター	0.03 ~ 0.04	0.03
平成 25 年度	クリーンセンター	0.03	0.03

全て、平成 24 年 1 月 1 日施行された「放射性物質汚染対策特措法」による汚染状況重点調査地域の指定要件 (0.23 μSv/時) を下回っている。

(2) 焼却灰及び排ガス中の放射線物質濃度

単位：Bq/kg

	採取日		セシウム 134	セシウム 137	合計
主灰	災害廃棄物焼却前	平成 23 年 11 月 25 日	17	28	45
	災害廃棄物焼却後	平成 23 年度平均	15	19	34
		平成 24 年度平均	17	23	40
		平成 25 年度平均	14	24	38
飛灰	災害廃棄物焼却前	平成 23 年 11 月	150	230	380
	災害廃棄物焼却後	平成 23 年度平均	116	147	263
		平成 24 年度平均	86	121	207
		平成 25 年度平均	41	99	140
排ガス	災害廃棄物焼却後	平成 24 年 3 月 8 日	不検出	不検出	不検出

測定結果については、国が示した「福島県内の災害廃棄物の処理の方針」において、作業者の安全も確保されるレベルについて示された 8,000 Bq/kg を下回っている。